

【協力会社紹介】

株式会社中才自動車修理工場 四戸副社長

弊社は昭和50年代に、国鉄青森保線区の新潟鉄工所製モーターの修繕を皮切りとして、保線車両の整備に携って来ました。

当時はアナログ制御で、オペレーターの技量によって操作していた保線機械も、現在ではプログラムコントロール化が進み、そう遠くない将来にはAI 技術による操作支援が組み込まれ、いずれは自動制御が主、人間の操作が従となり、やがて完全自動制御となる日も来ることでしょう。弊社としても、技術・技量の向上に向け、車両メーカーの技術講習会等に積極的に参加していきたいと考えています。

近年では、みちのく軌道会会員各社の保線機器のメンテナンスも受注させていただいており、関係各位に感謝申し上げます。弊社としても、皆様のご期待に応えられるよう、費用面や納期面においても効率的な整備を目指してまいります。今後とも、軌道工事の一端を担っていければと考えております。

今冬の青森市は、シーズンを通した累積降雪量こそ平年の1.2倍程度でしたが、1月中旬から2月中旬にかけて降雪が集中し、市街地でも最大積雪量が183cmと、平年の1.8倍、81年ぶりとなる記録的な豪雪に見舞われました。市内では除排雪作業が追い付かず、全国ニュースでも取り上げられるほどの緊急事態となりました。

各出張所におかれましても、軌道モーターによる除排雪作業は連日連夜、24時間体制での稼働を強いられたと伺っております。弊社としても、機械故障などのトラブル対応にあたりましたが、今後も皆様の要望にしっかりと応え、地域から必要とされる会社であり続けたいと考えています。

《トピックス》

○投排雪保守用車全般検査

和7年度は新潟トランス(株)の指定工場として投排雪保守用車全般検査の整備作業の為に弊社敷地内に車両2両を搬入し検査を行いました。

トランスミッションやATS車上子は取り外して専門の業者に整備をお願いしていますが、弊社では約6ヵ月かけてエンジンや車体各部、ボギー台車の整備を行いました。今年度も同様に津軽線6019号車他1両を搬入し検査を行う予定です。

また、今年度は好摩出張所のHTR600R,S1403R号車や第一建設工業のMCR600型2両の全般検査も予定しています。他に北海道新幹線延伸工事で使用されるウニモグについても弊社工場に搬入済みで新年度より整備を行う予定です。



投排雪保守用車搬入



保線機械整備部メンバー



○台湾高鐵の方々の研修

台湾高鐵の整備部門の方々から日本で保守用車の整備がどのような体制で行われているのか学びたいとの要望があり、(株)藤光及びレール軌材(株)の仲介で弊社にて講習を行いました。

5日間の日程で座学・実技を通し真剣に受講されていました。こういった点検ではどこに気を付けているか、ここが故障したらどういう修理をおこなうのかなど多くの質問なども飛び交い効率的な検修体制の確立に向けた課題などを確認していました。



台湾高鐵での研修風景

《職場のホープの紹介》

○佐藤 享(さとう きょう) 29歳

入社時は第二工場において、採石場の重機整備などを担当していました。配置転換となり、令和2年からは保線車両の整備に従事しています。現在は、建設機械の整備で培ったノウハウを先輩に伝えながら、日々業務に取り組んでいます。



《鉄道経験》6年

《抱負》先輩方に追いつける様に頑張ります

《特技》ボクシング

《趣味》釣り

《夢》全国各地で釣りをする

○佐藤 拓真(さとう たくま) 35歳

令和2年入社で、事務関係の業務に携わり、部品の手配や見積書・請求書の作成業務に追われる毎日を送っています。ハロウィーンで仮装する良き先輩を目標に、日々業務に励んでいます。



《鉄道経験》5年

《抱負》保守用車等のごと深く学びたい

《特技》絵や字を書くこと

《趣味》スポーツ観戦

《夢》メジャーリーグの試合を見に行くこと

右記写真は、紹介コメントで記載させていただいたハロウィーンでの仮装風景です。先輩たちと和気あいあい日々の業務やプライベートを過ごしております。

